

調達要求番号：

| 陸 上 自 衛 隊 仕 様 書 | | |
|--------------------------------|-----------------------|--------------------|
| 物品番号 | | 仕 様 書 番 号 |
| スペクトラム分析器 J A Y - Q 2 1 - B | G S - C 3 5 3 8 0 9 F | |
| | 防衛大臣承認 | 年 月 日 |
| | 作 成 | 平成 8 年 1 2 月 2 5 日 |
| | 変 更 | 平成 2 1 年 1 2 月 2 日 |
| | 作成部隊等名 | 補給統制本部 通信電子部 |

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊等において電子機器等の信号解析，周波数特性などの測定に使用するスペクトラム分析器 J A Y - Q 2 1 - B（以下，“本器”という。）について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1（以下，“一般共仕”という。）による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部を成すものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

G L T - C G - C 0 0 0 0 0 1 陸上自衛隊電子機器共通仕様書

G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

2 製品に関する要求

2.1 一般的事項

本器は，努めて一般市販品を適用する。

2.2 部品・材料・加工方法

部品，材料及び加工方法は，原則として G L T - C G - C 0 0 0 0 0 1（以下，“電子共仕”という。）の 2.1 による。

2.3 機能・性能

機能及び性能は，次による。

- | | |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| a) 周波数レンジ | 30 Hz～40 GHz |
| b) 周波数基準精度 | |
| 1) 温度安定度 | $\pm 1 \times 10^{-8}$ |
| 2) エージング／年 | $\pm 1 \times 10^{-7}$ |
| 3) ウォームアップ（公称） | 5分： $\pm 1 \times 10^{-7}$ 15分： $\pm 1 \times 10^{-8}$ |
| c) 側波帯雑音（中心周波数 ≤ 1 GHz） | < -88 dBc（オフセット 100 Hz） < -97 dBc（オフセット 1 kHz） < -113 dBc（オフセット 10 kHz） < -117 dBc（オフセット 100 kHz） |

- d) 表示平均雑音レベル
- －90 dBm (30 Hz)
 - －105 dBm (1 kHz)
 - －120 dBm (10 kHz, 100 kHz)
 - －140 dBm (1 MHz～10 MHz)
 - －145 dBm (10 MHz～2.9 GHz)
 - －147 dBm (2.9 GHz～6.5 GHz)
 - －143 dBm (6.5 GHz～13.2 GHz)
 - －140 dBm (13.2 GHz～22.0 GHz)
 - －136 dBm (22.0 GHz～26.5 GHz)
 - －139 dBm (26.5 GHz～31.15 GHz)
 - －130 dBm (31.15 GHz～40.0 GHz)
- e) 動作温度範囲 0℃～+55℃
- f) 制御インタフェース G P－I B (IEEE-488準拠)
- g) 最大寸法 187 mm (高さ) × 337 mm (幅) × 461 mm (奥行き) 以下
- h) 最大重量 24 kg 以下
- i) 制御コマンドは、アジレント・テクノロジー(株)製の 8564EC と互換性を有するものとする。

2.4 製品の表示

製品の表示は、原則として一般共仕の 2.3 及び電子共仕の 2.5 による。ただし、銘板の品名を変更する場合は、調達要領指定書による。

3 品質保証

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督・検査実施要領による。

4 出荷条件

4.1 包装

包装は、商慣習による。

4.2 包装の表示

包装の表示は、一般共仕の 4.2.3 によるものとし、個装及び内装の表示は識別可能な商慣習による。

5 その他の指示

5.1 附属品

附属品は、表 1 によるものとし、市販品の場合は、標準添付品を含むものとする。

表 1－附属品

| 番号 | 品 名 | 数量 | 備 考 |
|----|-------|----|----------------------|
| 1 | 取扱説明書 | 1 | _____ |
| 2 | 試験成績書 | 1 | 市販品の場合は、品質保証書で代用できる。 |

5.2 承認用図面

承認用図面は、電子共仕の箇条 4 による。ただし、市販品の場合は、提出を省略することができる。

5.3 取扱説明書

取扱説明書は、電子共仕の 5.1 a) による。

5.4 試験成績書

試験成績書は、電子共仕の箇条 7 による。

5.5 納入書類

納入書類は、電子共仕の表 1 番号 1 a) によるものとし、数量は、調達要領指定書による。

5.6 仕様書に関する疑義

この仕様書に関する疑義は、一般共仕の 8.3 による。